

日 本 国 特 許 庁
JAPAN PATENT OFFICE

J1017 U.S. PTO
10/044696
11/01/01

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office

出 願 年 月 日

Date of Application:

2000年11月 6日

出 願 番 号

Application Number:

特願2000-337759

出 願 人

Applicant(s):

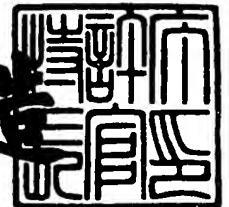
株式会社日本コンラックス

CERTIFIED COPY OF
PRIORITY DOCUMENT

2001年 8月31日

特 許 庁 長 官
Commissioner,
Japan Patent Office

及 川 耕 造



出証番号 出証特2001-3077923

【書類名】 特許願

【整理番号】 12050

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 G06F 1/00

【発明者】

【住所又は居所】 東京都千代田区内幸町 2 丁目 2 番 2 号 株式会社日本コ
ンラックス内

【氏名】 太田 通博

【発明者】

【住所又は居所】 東京都千代田区内幸町 2 丁目 2 番 2 号 株式会社日本コ
ンラックス内

【氏名】 吉田 裕昭

【発明者】

【住所又は居所】 東京都千代田区内幸町 2 丁目 2 番 2 号 株式会社日本コ
ンラックス内

【氏名】 品田 裕昭

【特許出願人】

【識別番号】 000152859

【氏名又は名称】 株式会社日本コンラックス

【代理人】

【識別番号】 100071054

【弁理士】

【氏名又は名称】 木村 高久

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 006460

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1
【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 プロモーション方法およびシステム

【特許請求の範囲】

【請求項1】 商品の販売に際して所定のポイントに関連するポイント情報を利用者に提示し、前記利用者は、該提示されたポイント情報を該利用者の識別情報とともにセンタ装置へ送信し、前記センタ装置は、該送信されたポイント情報に対応するポイントを前記利用者に対応して記憶管理して、該管理したポイントに対応する所要のサービスを前記利用者に対応して提供するプロモーション方法において、

前記ポイント情報に前記商品の販売元に関するシステム情報を付加し、

前記センタ装置は、受信した前記ポイント情報に付加された前記システム情報に基づいて前記利用者に対応して提供するサービスを前記商品の販売元に対応して個別に管理する

ことを特徴とするプロモーション方法。

【請求項2】 前記システム情報は、前記商品の販売に際して前記ポイント情報に付加される

ことを特徴とする請求項1記載のプロモーション方法。

【請求項3】 前記ポイント情報は、前記商品の販売元に設けられた固有のシステム端末を介して前記センタ装置に送信され、

前記システム情報は、前記システム端末で前記ポイント情報に付加される

ことを特徴とする請求項1記載のプロモーション方法。

【請求項4】 前記ポイント情報は、

前記商品に固有の商品コード、該商品が販売された日付情報、該商品の価格情報、該商品の販売処理を行なった機器の設置場所に関する地域コードのうちの少なくとも1つを含み、

前記センタ装置は、

前記利用者に対応して提供するサービスを前記商品の種別、該商品が販売された日付、該商品の価格、該商品の販売処理を行なった機器の設置場所の少なくとも1つにもとづいて一括変更する

ことを特徴とする請求項1記載のプロモーション方法。

【請求項5】 前記商品の販売は、自動販売機により行なわれ、
前記商品コードは、前記自動販売機の商品が格納されるコラム番号に対応して
前記ポイント情報に付加される

ことを特徴とする請求項4記載のプロモーション方法。

【請求項6】 前記商品コードは、前記商品に記載された製造番号に対応し
て前記ポイント情報に付加される

ことを特徴とする請求項4記載のプロモーション方法。

【請求項7】 前記商品コードは、前記商品に記載された該商品に関連する
バーコードの情報に基づき前記ポイント情報に付加される

ことを特徴とする請求項4記載のプロモーション方法。

【請求項8】 商品の販売に際して所定のポイントに関連するポイント情報
を利用者に提示し、前記利用者は、該提示されたポイント情報を該利用者の識別
情報とともにセンタ装置へ送信し、前記センタ装置は、該送信されたポイント情
報に対応するポイントを前記利用者に対応して記憶管理して、該管理したポイン
トに対応する所要のサービスを前記利用者提供するプロモーションシステムに
おいて、

前記商品の販売に際して、該商品の販売元に関するシステム情報が付加された
ポイント情報を発行するポイント情報発行手段と、

前記センタ装置に設けられ、前記ポイント情報に付加されたシステム情報に基
づいて前記利用者に提供するサービスを前記商品の販売元に対応して個別に管理
するシステム別管理手段と

を具備することを特徴とするプロモーションシステム。

【請求項9】 前記ポイント情報は、
前記商品に固有の商品コード、該商品が販売された日付情報、該商品の価格情
報、該商品の販売処理を行なった機器の設置場所に関する地域コードのうちの少
なくとも1つを含み、

前記センタ装置は、

前記利用者に提供するサービスを、前記商品の種別、該商品が販売された日付

、該商品の価格、該商品の販売処理を行なった機器の設置場所の少なくとも1つにもとづいて一括変更する変更手段

を具備することを特徴とする請求項8記載のプロモーションシステム。

【請求項10】 商品の販売に際して所定のポイントに関連するポイント情報を利用者に提示し、前記利用者は、該提示されたポイント情報を該利用者の識別情報とともにセンタ装置へ送信し、前記センタ装置は、該送信されたポイント情報に対応するポイントを前記利用者に対応して記憶管理して、該管理したポイントに対応する所要のサービスを前記利用者提供するプロモーションシステムにおいて、

前記商品の販売に際して、前記ポイント情報を発行するポイント情報発行手段と、

前記商品の販売元に対応して設けられ、前記ポイント情報に該商品の販売元に関するシステム情報を付加して前記センタ装置に送信するシステム端末と、

前記センタ装置に設けられ、前記ポイント情報に付加されたシステム情報に基づいて前記利用者に提供するサービスを前記商品の販売元に対応するプロモーションシステムに対応して個別に管理するシステム別管理手段と

を具備することを特徴とするプロモーションシステム。

【請求項11】 前記ポイント情報は、

前記商品に固有の商品コード、該商品が販売された日付情報、該商品の価格情報、該商品の販売処理を行なった機器の設置場所に関する地域コードのうちの少なくとも1つを含み、

前記センタ装置は、

前記利用者に提供するサービスを、前記商品の種別、該商品が販売された日付、該商品の価格、該商品の販売処理を行なった機器の設置場所の少なくとも1つにもとづいて一括変更する変更手段

を具備することを特徴とする請求項10記載のプロモーションシステム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

この発明は、商品の販売に伴ってポイントを発行することで商品の販売促進を行うプロモーション方法およびシステムに関する。

【0002】

【従来の技術】

従来、特定商品のプロモーション等において、商品の販売毎にポイントを発行し、当該商品の購入者がポイントを収集して景品等と交換するといったことが行われている。

【0003】

ここで、ポイントの発行は、各購入者が所有するカードにスタンプを押印したり磁気的な記録を行うものや、商品にシール等を貼付しておき、購入者がこのシールを収集する形式のものがある。

【0004】

しかし、商品にシール等を貼付してポイントを発行する形式のものでは、販売者と購入者の両者ともにポイントの処理に多大な手間を要しており、各購入者が所有するカードに対してポイントを加算していく形式のものでは、特に自動販売機でのポイント発行が困難であるとともに、当該商品の製造者の主催で行う全国規模のプロモーションへの対応も困難であった。

【0005】

また、いずれの場合においても、プロモーションの主催者側によるポイントの回収および集計の作業にも多大な手間を要していた。

【0006】

【発明が解決しようとする課題】

これらの問題を解決するため、本発明者は、商品の販売に際してポイントを暗号化したポイント情報を商品購入者に提示し、購入者が提示されたポイント情報を携帯電話、パソコン等の通信機器によってセンタ装置に送信すれば、センタ装置においてポイント情報が解読されて当該センタ装置が前記利用者に対応して記憶管理しているポイントに解読したポイント情報に対応したポイントが加算される形式のポイントシステム、および、このポイントシステムを利用して、販売者は、前記利用者に対応してセンタ装置で記憶管理されたポイントに応じたサービ

スを購入者に提供する形式のプロモーションシステムを、特願平11-280034号および特願2000-210217号として提案した。

【0007】

しかしながら、上記プロモーションシステムでは、販売元別に商品の販売促進を行うことはできない。

【0008】

また、販売商品種別、販売日時等の種々の条件に応じて商品の販売促進を行うこともできない。

【0009】

そこで、この発明は、商品の販売元別および販売商品種別、販売日時等の種々の条件に応じて商品の販売促進を行うことができるようにしたプロモーション方法およびシステムを提供することを目的とする。

【0010】

【課題を解決するための手段】

上述した目的を達成するため、この発明は、商品の販売に際して所定のポイントに関連するポイント情報を利用者に提示し、前記利用者は、該提示されたポイント情報を該利用者の識別情報とともにセンタ装置へ送信し、前記センタ装置は、該送信されたポイント情報に対応するポイントを前記利用者に対応して記憶管理して、該管理したポイントに対応する所要のサービスを前記利用者提供するプロモーション方法において、前記ポイント情報に前記商品の販売元に関するシステム情報を付加し、前記センタ装置は、受信した前記ポイント情報に付加された前記システム情報に基づいて前記利用者提供するサービスを前記商品の販売元に対応して個別に管理することを特徴とする。

【0011】

また、請求項1の発明は、前記システム情報は、前記商品の販売に際して前記ポイント情報に付加されることを特徴とする（請求項2記載）。

【0012】

また、請求項1の発明は、前記ポイント情報は、前記商品の販売元に設けられた固有のシステム端末を介して前記センタ装置に送信され、前記システム情報は

、前記システム端末で前記ポイント情報に付加されることを特徴とする。

【 0 0 1 3 】

さらに、請求項 1 の発明は、前記ポイント情報は、前記商品に固有の商品コード、該商品が販売された日付情報、該商品の価格情報、該商品の販売処理を行なった機器の設置場所に関する地域コードのうちの少なくとも 1 つを含み、前記センタ装置は、前記利用者に提供するサービスを前記商品の種別、該商品が販売された日付、該商品の価格、該商品の販売処理を行なった機器の設置場所の少なくとも 1 つにもとづいて一括変更することを特徴とする。

【 0 0 1 4 】

また、請求項 2 の発明は、前記商品の販売は、自動販売機により行なわれ、前記商品コードは、前記自動販売機の商品が格納されるコラム番号に対応して前記ポイント情報に付加されることを特徴とする。

【 0 0 1 5 】

また、請求項 2 の発明は、前記商品コードは、前記商品に記載された製造番号に対応して前記ポイント情報に付加されることを特徴とすることを特徴とする。

【 0 0 1 6 】

また、請求項 2 の発明は、前記商品コードは、前記商品に記載された該商品に関連するバーコードの情報に基づき前記ポイント情報に付加されることを特徴とする。

【 0 0 1 7 】

また、この発明は、商品の販売に際して所定のポイントに関連するポイント情報を利用者に提示し、前記利用者は、該提示されたポイント情報を該利用者の識別情報とともにセンタ装置へ送信し、前記センタ装置は、該送信されたポイント情報に対応するポイントを前記利用者に対応して記憶管理して、該管理したポイントに対応する所要のサービスを前記利用者に提供するプロモーションシステムにおいて、前記商品の販売に際して、該商品の販売元に関するシステム情報が付加されたポイント情報を発行するポイント情報発行手段と、前記センタ装置に設けられ、前記ポイント情報に付加されたシステム情報に基づいて前記利用者に提供するサービスを前記商品の販売元に対応して個別に管理するシステム別管理手

段とを具備することを特徴とする。

【0018】

また、請求項8の発明は、前記ポイント情報は、前記商品に固有の商品コード、該商品が販売された日付情報、該商品の価格情報、該商品の販売処理を行なった機器の設置場所に関する地域コードのうちの少なくとも1つを含み、前記センタ装置は、前記利用者に提供するサービスを、前記商品の種別、該商品が販売された日付、該商品の価格、該商品の販売処理を行なった機器の設置場所の少なくとも1つにもとづいて一括変更する変更手段を具備することを特徴とする。

【0019】

また、この発明は、商品の販売に際して所定のポイントに関連するポイント情報を利用者に提示し、前記利用者は、該提示されたポイント情報を該利用者の識別情報とともにセンタ装置へ送信し、前記センタ装置は、該送信されたポイント情報に対応するポイントを前記利用者に対応して記憶管理して、該管理したポイントに対応する所要のサービスを前記利用者に提供するプロモーションシステムにおいて、前記商品の販売に際して、前記ポイント情報を発行するポイント情報発行手段と、前記商品の販売元に対応して設けられ、前記ポイント情報に該商品の販売元に関するシステム情報を付加して前記センタ装置に送信するシステム端末と、前記センタ装置に設けられ、前記ポイント情報に付加されたシステム情報に基づいて前記利用者に提供するサービスを前記商品の販売元に対応するポイントシステムに対応して個別に管理するシステム別管理手段とを具備することを特徴とする。

【0020】

また、請求項10の発明は、前記ポイント情報は、前記商品に固有の商品コード、該商品が販売された日付情報、該商品の価格情報、該商品の販売処理を行なった機器の設置場所に関する地域コードのうちの少なくとも1つを含み、前記センタ装置は、前記利用者に提供するサービスを、前記商品の種別、該商品が販売された日付、該商品の価格、該商品の販売処理を行なった機器の設置場所の少なくとも1つにもとづいて一括変更する変更手段を具備することを特徴とする。

【0021】

【発明の実施の形態】

以下、この発明に係わるプロモーションシステムの実施の形態を添付図面を参照して詳細に説明する。

【0022】

図1は、この発明に係わるプロモーションシステムの一構成例を示すシステム構成図である。

【0023】

図1において、このプロモーションシステムは、屋外または屋内に配置される複数の自動販売機110および各種店舗に配設されるレジスタ120で販売される商品をポイント発行の対象としている。

【0024】

すなわち、このプロモーションシステムは、自動販売機110の販売商品に対する販売促進およびレジスタ120が配設されている店舗の各種商品の販売促進を可能にするものである。

【0025】

自動販売機110のポイント発行装置111は、この自動販売機110で商品の販売がある毎に、該販売された商品の販売金額、販売数量等に対応するポイント情報を生成し、このポイント情報をポイント発行装置111に設けられた図示しない表示部に表示する。

【0026】

また、レジスタ120のポイント発行装置121も同様に、このレジスタ120での販売処理がある毎に、その販売金額、販売数量等に対応するポイント情報を生成し、このポイント情報をポイント発行装置121に設けられた図示しない表示部に表示する。

【0027】

また、独立のポイント発行装置1000も同様に、所定の販売処理がある毎に、その販売金額、販売数量等に対応するポイント情報を生成し、このポイント情報をポイント発行装置1000に設けられた図示しない表示部に表示する。

【0028】

なお、上記ポイント情報には、

- 1) モジュールコード
- 2) シークレットコード
- 3) サブコード

が含まれる。

【0029】

ここで、モジュールコードは、上記ポイント発行装置111、121等を識別するもので、このプロモーションシステムにおいては、このモジュールコードに対応して自動販売機110およびレジスタ120等の状態をデータセンタ153のベンダデータベース（ベンダDB）162で記憶管理するように構成されている。

【0030】

また、シークレットコードには、

- 1) ポイント発行番号
- 2) ポイント数
- 3) パリティ

等が含まれる。

【0031】

ここで、ポイント発行番号は、ポイント発行装置111、121等からポイントが発行される毎にそれぞれ発行される連続番号で、ポイント情報の二重使用のチェックおよび不正使用のチェックを行なうために利用される。

【0032】

また、ポイント数は、販売毎に利用者が取得するポイント数であり、また、パリティは、利用者から送信されるポイント情報が暗号化、復号化プロセスを含む伝送途中で誤りや改竄がないことをチェックするための付加情報である。

【0033】

これらの情報を予め記憶された暗号鍵により暗号化することによりシークレットコードは生成される。

【0034】

また、サブコードには、

- 1) 商品コード
- 2) 日付情報
- 3) 価格情報
- 4) 地域コード
- 5) 販売元コード

等が含まれる。

【0035】

ここで、商品コードは、自動販売機110およびレジスタ120で販売された商品を識別するための情報である。

【0036】

また、日付情報は、商品が販売された日時についての情報であり、また、価格情報は、商品の販売価格についての情報であり、さらに、地域コードは、商品が販売された自動販売機110およびレジスタ120の設置場所に関連する情報である。

【0037】

また、販売元コードは、当該プロモーションシステム上に構築される複数のプロモーションシステムをそれぞれ独立に管理したい場合等に用いる情報であり、利用者から送信されてくるポイント情報が、どの販売元に属するものなのかを識別するために用いる。

【0038】

例えば、A社の製品のプロモーションとB社の製品のプロモーションを、同一プロモーションシステム上でそれぞれ独立に実施したい場合、利用者から送信されたポイント情報が、A社、B社のどちらの販売元に属するものなのかを識別するために用いる。

【0039】

なお、同一の会社が実施する複数のプロモーションシステムを識別するために用いることもできる。例えば、ある飲料メーカーが、清涼飲料水の販売促進を狙ったプロモーションと、ビールの販売促進を狙ったプロモーションを、同一のプ

ロモーションシステム上で別々に行ないたい場合、利用者から送信されたポイント情報が、清涼飲料水のプロモーションシステム、ビールのプロモーションシステムのどちらに属するものなのかを識別するために用いることもできる。

【 0 0 4 0 】

さて、このプロモーションシステムの利用者は、ポイント発行装置 1 1 1 および 1 2 1 の表示部に表示されたポイント情報を読み取って記憶し、この記憶したポイント情報を携帯電話機 1 3 0 若しくはパーソナルコンピュータ（以下、パソコンという） 1 4 0 に入力して、当該利用者を識別する I D（識別情報）と所定のパスワードとともにデータセンタ 1 5 3 に送信する。

【 0 0 4 1 】

なお、ポイント発行装置 1 1 1 および 1 2 1 に赤外線通信装置を内蔵させ、この赤外線通信装置を用いて上記ポイント情報の上記携帯電話機 1 3 0 等への入力を行なってもよい。

【 0 0 4 2 】

また、ポイント発行装置 1 1 1 および 1 2 1 に上記ポイント情報を印字出力する手段を設けてもよい。

【 0 0 4 3 】

また、レジスタ 1 2 0 のポイント発行装置 1 2 1 は、このレジスタ 1 2 0 から印字出力されるレシートに、このポイント発行装置 1 2 1 で生成されたポイント情報を印字出力するように構成してもよい。

【 0 0 4 4 】

データセンタ 1 5 3 は、インターネット 1 5 0 上の W e b サーバとして構築され、利用者の取得したポイントを利用者 I D に対応して記憶管理するポイントデータベース（ポイント D B） 1 6 1、上記モジュールコードに対応して自動販売機 1 1 0 およびレジスタ 1 2 0 の状態等を記憶管理するベンダデータベース（ベンダ D B） 1 6 2、利用者の個別情報を記憶管理する利用者データベース（利用者 D B） 1 6 3 が設けられている。

【 0 0 4 5 】

このデータセンタ 1 5 3 に対する利用者の携帯する携帯電話機 1 3 0 からのポ

イント情報の送信は、携帯電話機130、移動体通信事業者151、インターネット150を介して行われる。

【0046】

また、このデータセンタ153に対する利用者のパソコン140からのポイント情報の送信は、パソコン140、利用者のアクセスプロバイダ152、インターネット150を介して行われる。

【0047】

データセンタ153は、利用者の携帯電話機130若しくはパソコン140からポイント情報を受信すると、まず、利用者データベース163を参照して利用者IDおよびパスワードのチェックを行う。

【0048】

次に、ベンダデータベース162を参照して、モジュールコードのチェックを行う。

【0049】

次に、シークレットコードを復号化して、パリティのチェック、ポイント発行番号のチェック、ポイント数のチェックを行い、このチェック結果に基づきポイントデータベース161を更新する。

【0050】

また、このデータセンタ153は、

- 1) 利用者データベース163の登録、更新に基づく利用者の管理
- 2) ポイントデータベース161に基づくポイントの管理
- 3) ベンダデータベース162の登録、更新に基づくポイント発行装置の管理
- 4) ポイントデータベース161に記憶されたポイントに基づく各種抽選および当選者の管理
- 5) 自動販売機110の管理者およびレジスタ120の配設された店舗等に対するマーケティング情報の提供
- 6) 自動販売機110の売上情報、商品および釣銭、故障等の管理等を行う。

【0051】

また、上記インターネット 1 5 0 上には上記ポイントに関するデータセンタ 1 5 3 の決済の代行を行うネットバンク 1 5 4、自動販売機 1 1 0 の管理者およびレジスタ 1 2 0 の配設された店舗等に対するマーケティング情報の提供のためにデータセンタ 1 5 3 に代わってホームページを配信するホスティングプロバイダ 1 5 5 等が設けられている。

【 0 0 5 2 】

さて、ポイント発行装置 1 1 1 およびポイント発行装置 1 2 1 が生成するポイント情報は、例えば図 2 に示すような方法で生成される。

【 0 0 5 3 】

すなわち、ポイント発行装置 1 1 1 およびポイント発行装置 1 2 1 は、図 2 に示すように、当該プロモーションシステムに固有の情報（システムコード等）A と、発行したポイントに固有の情報（ポイント発行番号等）B と、当該プロモーションシステムの管理等に用いる種々の情報を含むサブコード C を、所定の暗号鍵に基づいて暗号化してポイント情報 D を生成し、これを図示しないポイント情報表示部に可視化して表示する。

【 0 0 5 4 】

なお、サブコード C は、商品の販売元に固有の情報（販売元コード）C 1 と、商品に固有の情報（商品コード）C 2 と、当該商品の販売日時に関する日付情報 C 3 （日付コード）と、販売された商品の販売価格に関する価格情報（価格コード）C 4 と、当該商品が販売された自動販売機 1 1 0 もしくはレジスタ 1 2 0 の設置場所に関する情報（地域コード）C 5 を含むコードである。

【 0 0 5 5 】

購入者は、この表示されたポイント情報 D を、携帯電話機 1 3 0 若しくはパソコン 1 4 0 によりデータセンタ 1 5 3 に送信する。

【 0 0 5 6 】

ポイント情報 D' （真正ならばポイント情報 D と同一のもの）を受信したデータセンタ 1 5 3 では、所定の復号鍵を用いて、情報 A' と情報 B' 、情報 C' を取得する。

【 0 0 5 7 】

次に、情報A'と予めデータセンタ153に記憶してある当該プロモーションシステムに固有の情報（システムコード等）Aとを比較することにより、当該ポイント情報の真偽を確認する（真偽判定）。

【0058】

続いて、情報C'から情報C1を抽出して、当該ポイント情報に対応する商品の販売元を特定する。

【0059】

さらに、販売元ごとに情報Bを管理しているデータセンタ153のポイント発行番号データベースから、情報B'を検索して未使用か否かを確認する（二重使用判定）。

【0060】

データセンタ153は、上記の真偽判定、二重使用判定の結果、当該ポイント情報が真正なものであると判断すると、情報B'に含まれるポイントを抽出し、さらに、情報C'を解析して、このポイント情報に対応する商品の特定、当該商品が販売された日時、商品の販売価格、当該商品の販売処理を行なった自動販売機110およびレジスタ120の設置場所に関する情報を取得する。

【0061】

そして、情報C'から取得した情報のいずれか若しくは取得した情報の組み合わせに基づいて、情報B'から抽出したポイントを選択的に加工する。

【0062】

ここで、ポイントの加工とは、抽出されたポイントに所定のポイントを加算する等の処理であり、例えば、ある特定の期間中ある特定の商品の販売促進を特に重点的に行ないたい場合、この期間中に販売された該特定の商品のポイント情報に対応するポイント数を、データセンタ153側で2倍にしてから当該データセンタが記憶管理するポイント数に加算する等の処理である。

【0063】

さらに、情報C'から取得したこれら種々の情報を用いて、自動販売機110の管理者およびレジスタ120の配設された店舗等に提供するマーケティング情報を生成することもできる。

【0064】

例えば、

1) 情報C2(商品コード)の統計を取ることによって、例えば、この商品の売れ行きは良いがあの商品の売れ行きはイマイチである等、商品毎の売上を把握することができる。

【0065】

2) 情報C3(日付情報)の統計を取ることによって、1日単位、1週間単位等の、期間帯ごとの売上の変移を把握することができる。

【0066】

3) 情報C4(価格情報)の統計を取ることによって、価格帯別の商品の売れ筋情報等を把握することができる。

【0067】

4) 情報C5(地域コード)の統計を取ることによって、地域ごとの商品の売れ筋情報等を把握することができる。

【0068】

5) 情報C1(販売元コード)の統計を取ることによって、当該プロモーションシステムを利用している販売元ごとの売上状況を把握することができる。

【0069】

6) 上記1)乃至5)の解析方法を組み合わせることで、さらに詳細なマーケティング情報を得ることができる。

【0070】

図4は、この発明に係わるプロモーションシステムの他の構成例を示すシステム構成図である。

【0071】

図4に示すプロモーションシステムでは、図1に示すプロモーションシステムにおいて、ポイント発行装置111および121でポイント情報に付加していた販売元コードを、インターネット150上に構築された各販売元ごとの窓口156で付加する。

【0072】

つまり、ポイント発行装置 1 1 1 および 1 2 1 で発行されるポイント情報には、販売元コードは付加されておらず、利用者は、取得したポイント情報を購入した商品の販売元の窓口 1 5 6 に送信し、販売元窓口 1 5 6 は、利用者から送信されたポイント情報に販売元コードを付加して、データセンタ 1 5 3 に送信する。

【 0 0 7 3 】

図 3 に示すプロモーションシステムのその他の構成は、図 1 に示すものと同様である。

【 0 0 7 4 】

次に、ポイント発行装置でのポイント情報の生成方法とデータセンタ 1 5 3 での処理について説明する。

【 0 0 7 5 】

図 4 は、図 1 に示したポイント発行装置（ポイント発行装置 1 1 1 または 1 2 1）の処理の詳細を示すフローチャートである。

【 0 0 7 6 】

図 4 において、ポイント発行装置は、まず、自動販売機 1 1 0 若しくはレジスタ 1 2 0 からポイント発行指示があるかを調べる（ステップ 2 0 1）。ここで、ポイント発行指示が無いと判断されると、ステップ 2 0 1 へ戻り、ポイント発行指示を持つ。

【 0 0 7 7 】

ステップ 2 0 1 で、自動販売機 1 1 0 若しくはレジスタ 1 2 0 からポイント発行指示があると（ステップ 2 0 1 で Y E S）、次に、このポイント発行指示のポイント数は有効かを調べる（ステップ 2 0 2）。ここで、無効と判断されると（ステップ 2 0 2 で N O）、ステップ 2 0 2 へ戻るが、有効と判断されると（ステップ 2 0 2 で Y E S）、まず、ポイント発行番号を生成する（ステップ 2 0 3）。このポイント発行番号の生成は、前回発行したポイント発行番号に 1 を加えることにより行われる。

【 0 0 7 8 】

次に、パリティを生成する（ステップ 2 0 4）。このパリティの生成は、例えば、ステップ 2 0 3 で生成したポイント発行番号と、ステップ 2 0 2 で有効と判

別したポイント数との情報をnビット毎に区切って加算し、この値をmで除算した余りを求めることにより行われる。

【0079】

さらに、自動販売機110若しくはレジスタ120で販売された商品の商品コードを取得する。

【0080】

なお、商品コードは、自動販売機110の商品を格納するコラムに、各々の商品の商品コードをコラム番号に対応させて記憶させることによって商品販売時に商品コードを取得するようにしても良いし、自動販売機110およびレジスタ120にバーコードリーダーを設け、購入者もしくは販売者は、商品に記載されたバーコードをこのバーコードリーダーに読み取らせ、読み取ったバーコードの情報に基づいて商品コードを取得するようにしても良い。

【0081】

そして、シークレットコードを生成する(ステップ205)。このシークレットコードの生成は、上記ポイント発行番号、ポイント数、パリティを予め記憶した暗号鍵で暗号化することにより行われる。

【0082】

このようにして生成されたシークレットコードは、このポイント発行装置のモジュールコードとともにポイント情報としてこのポイント発行装置の表示部(ディスプレイ)に表示され(ステップ206)、同様に、レシートに印字しても良い(ステップ207)。

【0083】

次に、ディスプレイのポイント情報の提示を制限するためのタイマをリセットし(ステップ208)、このポイント発行装置に上記ポイント情報を出力するための赤外線デバイスがあるかを調べる(ステップ209)。

【0084】

ここで、赤外線デバイスがあると判断されると(ステップ209でYES)、上記ポイント情報(コード)を赤外線で出力する(ステップ210)。

【0085】

そして、次に、タイマがタイムアウトしたかを調べ（ステップ211）、タイムアウトしていない場合は（ステップ211でNO）、ステップ209へ戻るが、タイムアウトしたと判断されると（ステップ211でYES）、ディスプレイの表示を消去し（ステップ212）、この処理を終了する。

【0086】

図5は、上記ポイント情報を受信したデータセンタ153の動作の流れを示すフローチャートである。

【0087】

図5において、データセンタ153は、ポイント情報を取得すると、ポイント情報とともに受信した登録名（ポイント情報の送信者の名前で任意に登録されたもの）が実在しているか否かを判定し（ステップ301）、実在していれば（ステップ301でYES）、当該ポイント情報が真正なものであるか否かを確認する（ステップ302）。

【0088】

そして、その確認の結果、ポイント情報が真正なものであれば（ステップ302でYES）、さらに、当該ポイントが未使用なものであるか否かを確認する（ステップ303）。

【0089】

また、確認の結果、当該ポイントが未使用なものであれば、当該ポイント情報に付加される上記のサブコードを解析し（ステップ304）、受信したポイント情報に基づいたポイント数を記憶されている該当登録名のポイント数に加算して（ステップ305）、このポイント数を販売元コードに基づき販売元ごとに管理して（ステップ306）、処理を終了する。

【0090】

一方、登録名が実在しないものであった場合や（ステップ301でNO）、ポイントが偽造であった場合（ステップ302でNO）、ポイントが複数回目の使用であった場合には（ステップ303でNO）、異常処理としてポイント数の加算を行わずに処理を終了する（ステップ307）。

【0091】

なお、異常処理では、単にポイントを加算しないだけでなく、該当する登録名での異常処理回数を累積し、所定回以上の異常処理が生じた場合には、当該登録を抹消したりすることも可能である。また、登録名が実在しなかった場合に、新たに登録を受け付けて、その後ステップ 3 0 2 以降の処理を実行するようにしてもよい。

【 0 0 9 2 】

【発明の効果】

以上説明したように、この発明によれば、ポイント情報に、プロモーションシステム上に構築されるプロモーションシステムに固有のプロモーションコード、商品が販売された日時に関する日付情報、商品の価格に関する価格情報等の、種々の情報を付加し、データセンタは、これら種々の情報のいずれか、若しくはこれら種々の情報の組み合わせに基づいて、当該プロモーションシステム上に構築されるプロモーションシステムを管理するので、同一のプロモーションシステム上に複数の独立したプロモーションシステムを構築できるとともに、対象商品の詳細なマーケティング情報を得ることができるという効果を奏する。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

この発明に係るプロモーションシステムの一構成例を示すシステム構成図である。

【図 2】

図 1 に示したプロモーションシステムにおけるポイント情報を説明するための図である。

【図 3】

この発明に係るプロモーションシステムの他の構成例を示すシステム構成図である。

【図 4】

図 1 に示したポイント発行装置の動作の流れを示すフローチャートである。

【図 5】

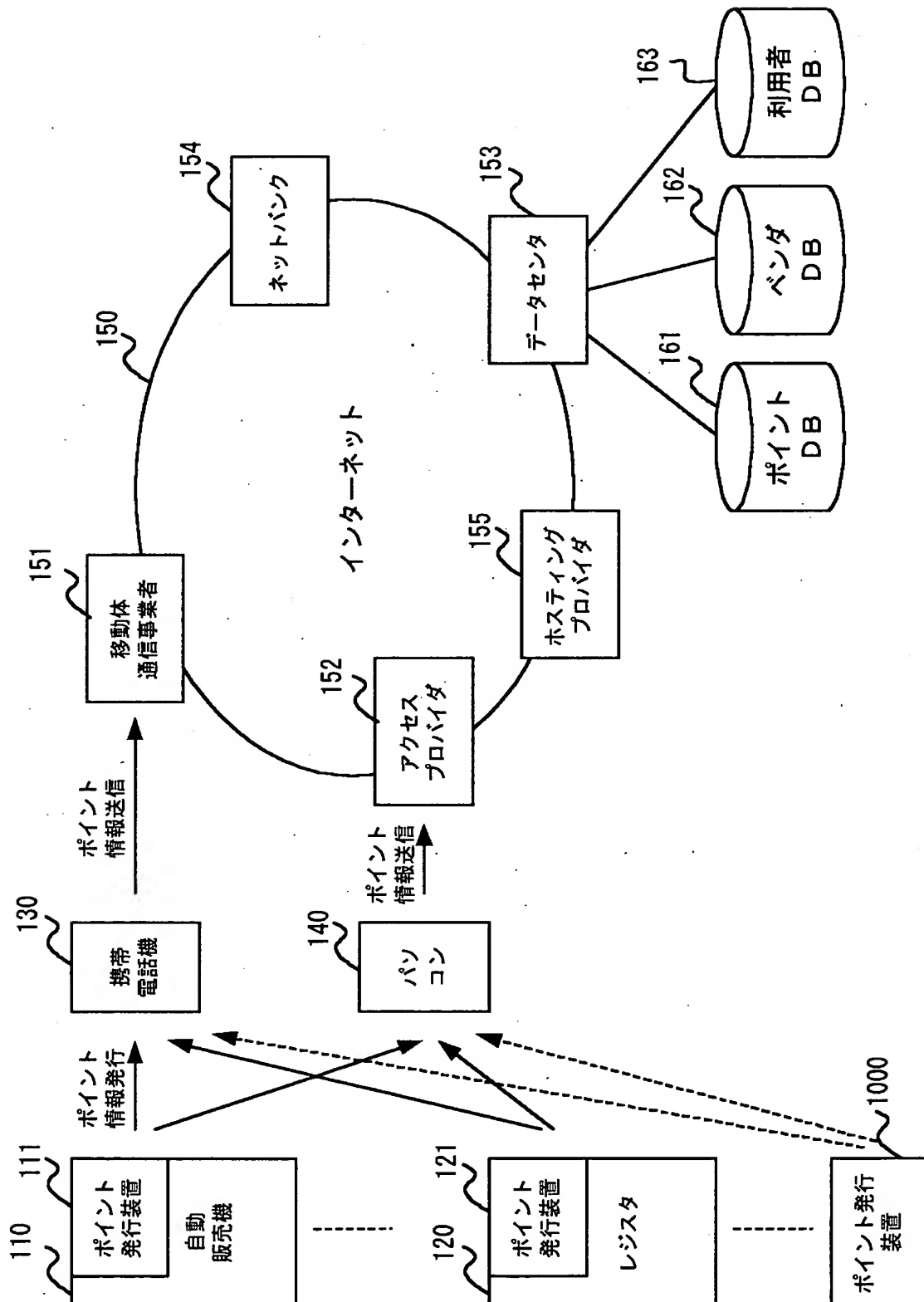
図 1 に示したデータセンタの処理の詳細を示すフローチャートである。

【符号の説明】

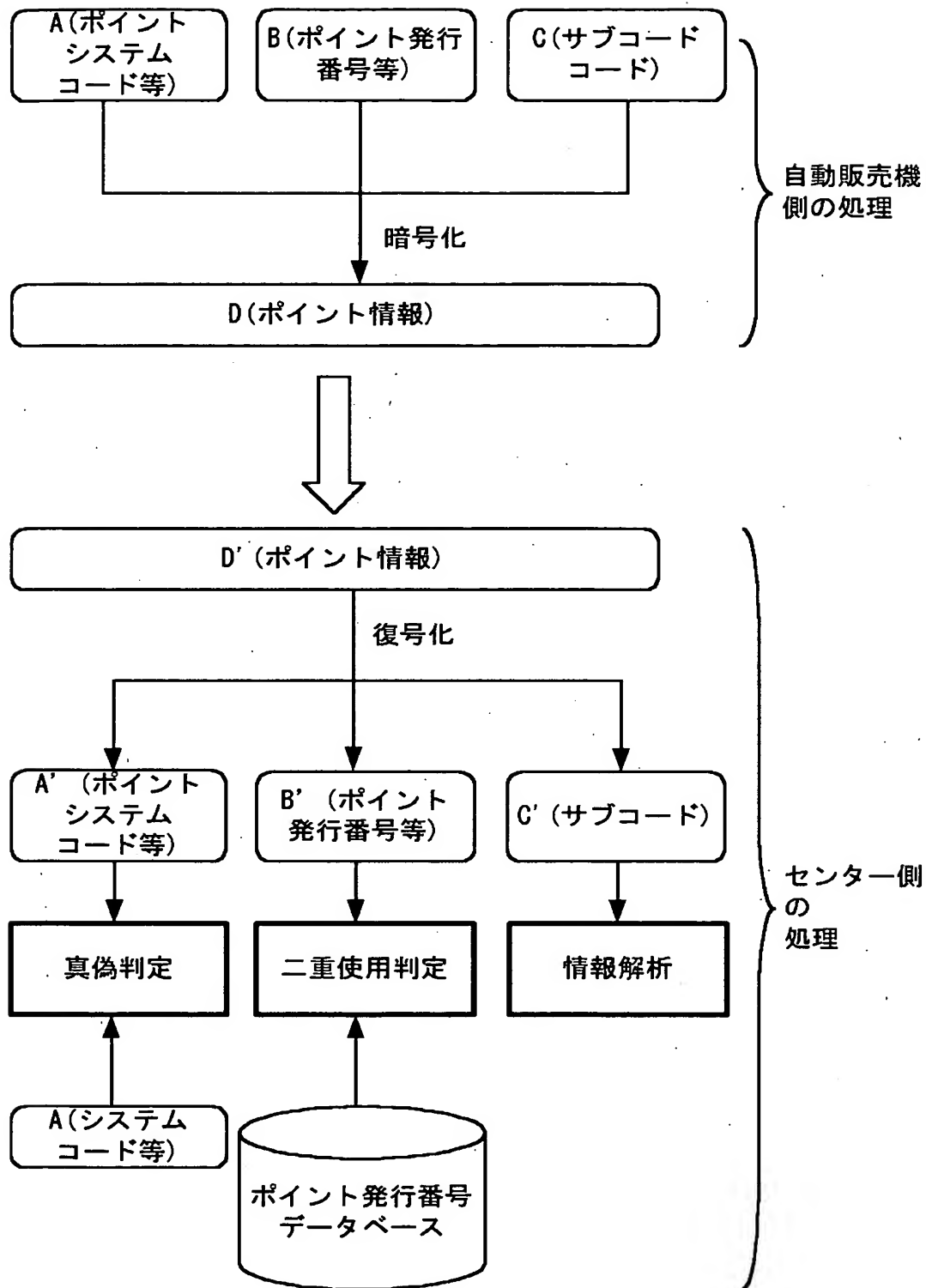
| | |
|---------|-------------|
| 1 1 0 | 自動販売機 |
| 1 1 1 | ポイント発行装置 |
| 1 2 0 | レジスタ |
| 1 2 1 | ポイント発行装置 |
| 1 3 0 | 携帯電話機 |
| 1 4 0 | パソコン |
| 1 5 0 | インターネット |
| 1 5 1 | 移動体通信事業者 |
| 1 5 2 | アクセスプロバイダ |
| 1 5 3 | データセンタ |
| 1 5 4 | ネットバンク |
| 1 5 5 | ホスティングプロバイダ |
| 1 5 6 | 販売元窓口 |
| 1 6 1 | ポイントデータベース |
| 1 6 2 | ベンダデータベース |
| 1 6 3 | 利用者データベース |
| 1 0 0 0 | ポイント発行装置 |

【書類名】 図面

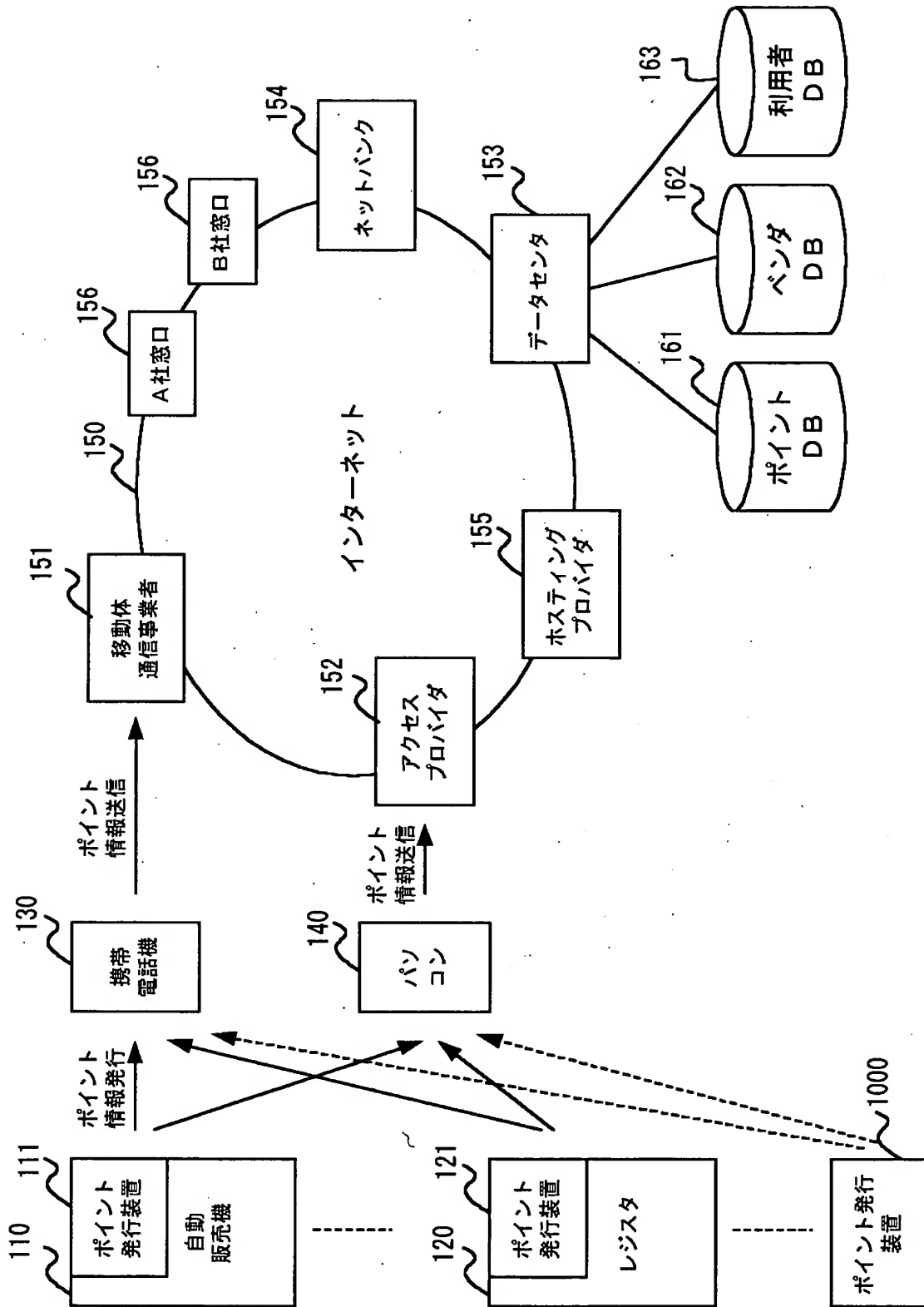
【図 1】



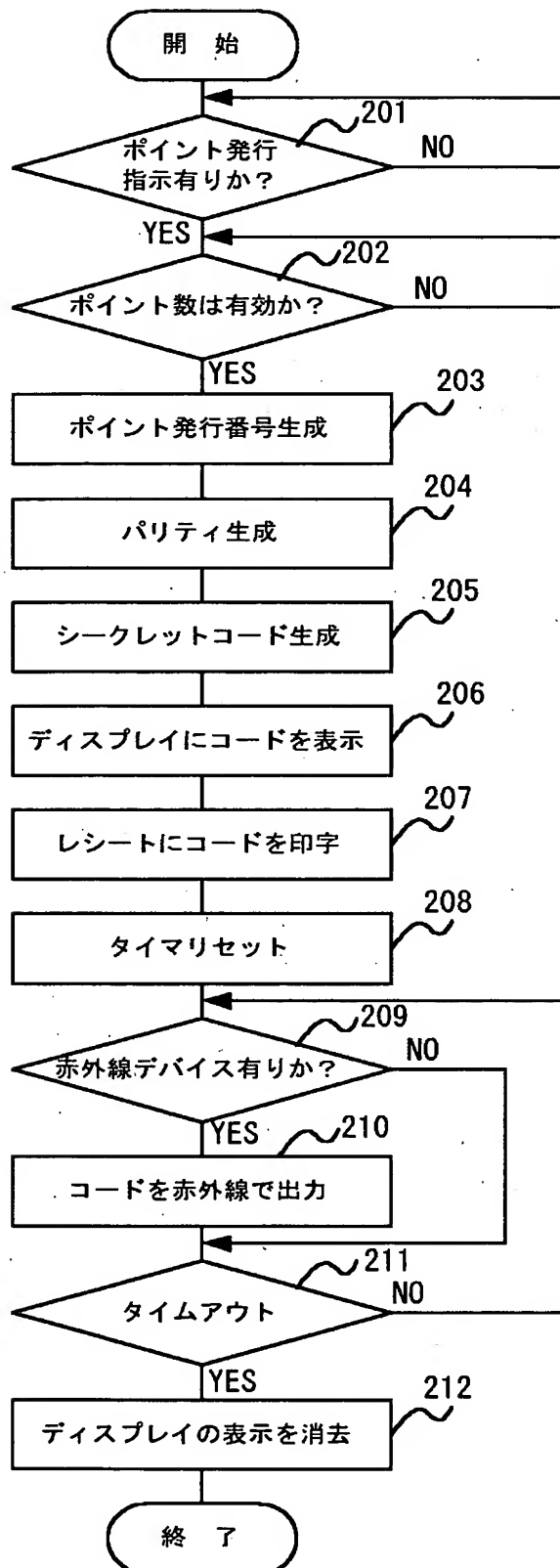
【図 2】



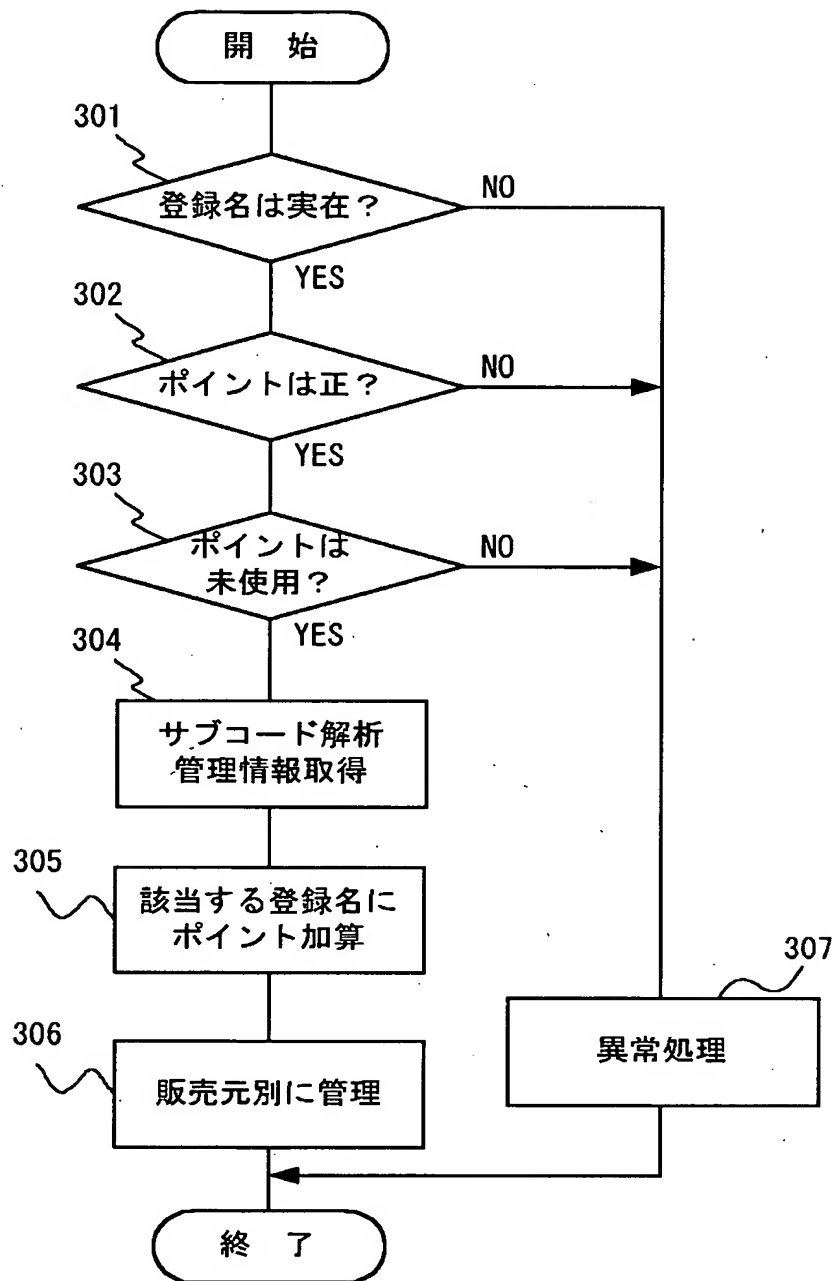
【図3】



【図 4】



【図 5】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 種々の条件に応じてプロモーションシステムを管理し、さらに、販売元別に複数のプロモーションシステムを独立に構築することのできるプロモーションシステムを提供する。

【解決手段】 ポイント情報に、販売元、日付情報、価格情報、地域コード等から成るサブコードを付加する

【選択図】 図2

特2000-337759

認定・付加情報

| | |
|---------|---------------|
| 特許出願の番号 | 特願2000-337759 |
| 受付番号 | 50001431493 |
| 書類名 | 特許願 |
| 担当官 | 第七担当上席 0096 |
| 作成日 | 平成12年11月 7日 |

<認定情報・付加情報>

| | |
|-------|-------------|
| 【提出日】 | 平成12年11月 6日 |
|-------|-------------|

次頁無

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000152859]

1. 変更年月日 1990年 8月24日

 [変更理由] 新規登録

 住 所 東京都千代田区内幸町2丁目2番2号

 氏 名 株式会社日本コンラックス